2026 年 11 月 26 日

三井不動産株式会社

収容人数 1 万人規模の多目的アリーナ「LaLa arena NAGOYA」に名称決定 愛知県名古屋市に「LaLa arena」シリーズ 2 施設目が 2028 年 1 月開業（予定）

本リリースのポイント

- 名古屋市港区の収容人数 1 万人規模の多目的アリーナの名称が「LaLa arena NAGOYA」に決定。2027 年 10 月に竣工、2028 年 1 月に開業予定。
- 「LaLa arena TOKYO-BAY」（千葉県船橋市）に続く 2 施設目の多目的アリーナとして、「LaLa arena」シリーズの特徴である“流線形”の意匠外壁を用いて建物をデザイン。
- 商業・スポーツ・住宅などの多様な都市機能が集積する「みなとアクルス」エリアに位置し、隣接する「三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルス」、「COMTEC PORTBASE（多目的ホール）」と共に、スポーツ・エンターテインメントの力を活用した街一体での体験価値の創造を目指す。

三井不動産株式会社（所在：東京都中央区、代表取締役社長：植田俊、以下「当社」）は、愛知県名古屋市において開発中の多目的アリーナの名称を「LaLa arena NAGOYA」に決定したことをお知らせいたします。なお、竣工は 2027 年 10 月、開業は 2028 年 1 月を予定しております。

本事業は、三井不動産株式会社、豊田通商株式会社（所在：愛知県名古屋市、取締役社長：今井斗志光）、KDDI 株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長 CEO：松田浩路）の 3 社による共同プロジェクトとして推進しており、B.LEAGUE に所属するファイティングイーグルス名古屋（運営会社：豊通ファイティングイーグルス株式会社（所在：愛知県名古屋市、代表取締役社長 CEO：成瀬日出夫））がホームアリーナとして利用するほか、音楽コンサート、スポーツイベント、企業の展示会などのさまざまなイベントに対応可能な施設です。

本アリーナは、2024 年に開業した「LaLa arena TOKYO-BAY」（千葉県船橋市）に続く 2 施設目のアリーナとなります。～「ワクワク感の波紋」の起点となるアリーナ～という施設コンセプトのもと、本アリーナに隣接する三井不動産グループが管理・運営する「三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルス」（以下「ららぽーと名古屋みなとアクルス」）との連携を図ることで、周辺地域に「ワクワク感の波紋」を波及させながら、街一体での体験価値を創出してまいります。

施設コンセプト 「ワクワク感の波紋」の起点となるアリーナ



「LaLa arena NAGOYA」外観イメージ


バスケットボール試合開催時イメージ


音楽コンサート開催時イメージ

「LaLa arena NAGOYA」 に名称決定

当社グループが管理・運営する商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと」などに共通する、楽しさを表す「らら」のネーミングを継承し、施設名称を「LaLa arena NAGOYA」に決定いたしました。

本アリーナは、「LaLa arena TOKYO-BAY」（千葉県船橋市）に続く「LaLa arena」シリーズの 2 施設目となります。現在、「（仮称） Kubota LaLa arena」（大阪府大阪市）の開発も本格始動しており、東名阪エリアにおいてアリーナを展開することで、スポーツ・エンターテインメント業界全体のさらなる発展に貢献してまいります。

なお、本アリーナは、地域の新たなランドマークとして、スポーツ・エンターテインメントを通じた感動体験を提供するだけでなく、隣接する「ららぽーと名古屋みなとアクルス」などとの連携によって、本アリーナに来場されるお客さまがイベント前後にお買い物やお食事を一日中楽しめる環境を創出します。「ららぽーと名古屋みなとアクルス」では、2025 年 3 月にリニューアルを行い、施設の中心に位置するセンターコートに大型ビジョンや吹き抜け面のデジタルサイネージなどを設置し、多様なイベントが実施できる空間に刷新しました。

今後は、当社グループが管理・運営する中部圏の商業施設において本アリーナと一体となって楽しんでいただける企画や、三井ショッピングパーク公式通販サイト「Mitsui Shopping Park &mall（アンドモール）」、「三井ショッピングパークチケット」などと連携したさまざまな取り組みを行い、お客さまの体験価値の最大化を目指します。



三井ショッピングパーク
ららぽーと名古屋みなとアクルス
デカゴン



三井ショッピングパーク
ららぽーと名古屋みなとアクルス
センターコート



三井ショッピングパーク
ららぽーと名古屋みなとアクルス
センターコート

▶外装デザイン

本アリーナの外装デザインには、「LaLa arena」シリーズの特徴である“流線形”の意匠外壁を取り入れました。また、運河を介してワクワク感が広がる“波紋”、地域の名産品である「せともの」の「鎬(しのぎ)模様」から着想を得た“名古屋らしさ”、そしてチーム名にも入っている鷲の羽の躍動から表現される “ファイティングイーグルス名古屋らしさ”の 3 つのキーワードをもとに、外装デザインを設計しています。



「ファイティングイーグルス名古屋」ロゴに込められた鷲の 3 枚羽根をモチーフ



“流線形”の意匠外壁



デザインキーワード①波紋



デザインキーワード②名古屋らしさ



デザインキーワード③
ファイティングイーグルス名古屋らしさ

「LaLa arena NAGOYA」 従業員募集活動開始

本アリーナは、当社および当社のグループ会社である株式会社東京ドーム（所在：東京都文京区、代表取締役社長：斎藤 裕、以下「東京ドーム」）が運営します。従業員採用のため、施設専用求人サイトを 2026 年 10 月に公開しており、従業員の募集を進めてまいります。詳細は、以下の東京ドーム求人サイトをご確認ください。

東京ドーム求人サイト： https://www.tokyo-dome.jp/recruit/job-specific/

＜添付資料①＞ 計画概要

所在地	愛知県名古屋市港区金川町 101 番 22
施設名称	LaLa arena NAGOYA
敷地面積	約 20,500 ㎡（約 6,200 坪）
構造規模	鉄骨造・地上 4 階建
延床面積	約 27,500 ㎡（約 8,300 坪）
収容人数	約 10,000 人
交通	名古屋市営地下鉄名港線「港区役所」駅 徒歩約 8 分
事業主体	三井不動産株式会社、豊田通商株式会社、KDDI 株式会社 （ららアリーナ名古屋株式会社を組成し、事業を推進）
設計・施工会社	株式会社大林組
スケジュール	着工 2025 年 8 月 27 日 竣工 2027 年 10 月（予定） 開業 2028 年 1 月（予定）
施設 HP	2026 年 12 月公開予定

参考：「（仮称）名古屋アリーナ」着工リリース
https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2025/0827/

＜添付資料②＞　位置図

【広域図】



【狭域図】



＜添付資料③＞ 「みなとアクルス」エリア概要

本アリーナは、東邦ガスグループが開発を進める「みなとアクルス」エリアに位置しています。「みなとアクルス」は先進のエネルギーシステムを取り入れた環境に優れたまちであり、集合住宅、商業施設、スポーツ施設などの都市機能を集積したスマートタウンです。当社グループは、商業施設「ららぽーと名古屋みなとアクルス」や、集合住宅「パークホームズ LaLa 名古屋みなとアクルス」、「パークホームズ LaLa 名古屋みなとアクルスガーデンスクエア」、「パークホームズ LaLa 名古屋みなとアクルスシーズンズ」の開発を手掛けています。本アリーナの誕生を機に、さらにエリア全体の魅力向上に努めてまいります。

詳細はウェブサイトをご参照ください。(https://minatoaquls.com/)



＜添付資料④＞　中部圏における三井不動産の商業施設について

中部圏では、2002 年 3 月にオープンした「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」を皮切りに、2009 年 6 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと磐田」、2018 年 9 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルス」、2020 年 9 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと愛知東郷」および「RAYARD Hisaya-odori Park」、2025 年 4 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと安城」、2025 年 11 月に「三井アウトレットパーク 岡崎」がオープン。また、2025 年 8 月にはトヨタ不動産株式会社と共同で運営を開始した「カラフルタウン岐阜」が加わり、計 8 施設を運営しております。



三井ショッピングパーク
ららぽーと名古屋みなとアクルス
（愛知県名古屋市）



RAYARD Hisaya-odori Park
（愛知県名古屋市）



三井ショッピングパーク ららぽーと愛知東郷
（愛知県愛知郡東郷町）



三井ショッピングパーク ららぽーと安城
（愛知県安城市）



三井アウトレットパーク 岡崎
（愛知県岡崎市）



三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島
（三重県桑名市）



三井ショッピングパーク ららぽーと磐田
（静岡県磐田市）



カラフルタウン岐阜
（岐阜県岐阜市）

＜添付資料⑤＞　スポーツ・エンターテインメントを活用した街づくりの推進

三井不動産は、2024 年 4 月に策定した長期経営方針「＆ INNOVATION 2030」に基づき、事業戦略に掲げる新たなアセットクラスへの展開に向け、スポーツ・エンターテインメントを通じた感動体験の創出を目指しています。

この中で当社グループは、収容人数約 5 万人規模の「東京ドーム」（東京都文京区）や約 2.5 万人規模の「新秩父宮ラグビー場 SMBC Olive SQUARE」※（東京都新宿区）、約 1.8 万人規模の万博記念公園駅前周辺地区活性化事業における大規模アリーナ（大阪府吹田市）、約 1.25 万人規模の多目的アリーナ「（仮称）Kubota LaLa arena」（大阪府大阪市）や約 1 万人規模の多目的アリーナ「LaLa arena TOKYO-BAY」（千葉県船橋市）など、複数のエリアで多様な規模の会場を展開しています。また、会場の保有・運営にとどまらず、「三井ショッピングパーク ららぽーと」や「三井アウトレットパーク」をはじめとする当社商業施設と一体となった企画を通じてリアルの体験価値を生み出すことで、お客さまが一日中楽しめる環境づくりに取り組んできました。

また、東京ドームなどで開催される大型アーティストライブと連動した公式 POP-UP イベントが行われる「MIYASHITA PARK」、本格的なスポーツ・エンターテインメントイベントが実施可能な屋内型スタジアムコートを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」「三井ショッピングパーク ららぽーと安城」、スポーツや映画・音楽コンサートなどのパブリックビューイングを開催できるスポーツパークを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」などのスポーツ・エンターテインメントの要素を盛り込んだ街づくりも手掛けています。

今後も当社は、スポーツ・エンターテインメントを活用したリアルの体験価値を最大化する街づくりを推進してまいります。

※「新秩父宮ラグビー場」は現時点の仮称となります。

※「SMBC Olive SQUARE」という名称は 2030 年 5 月（予定）の施設運営開始日より効力発生となります。



東京ドームシティ
（東京都文京区）



LaLa arena TOKYO-BAY
（千葉県船橋市）



三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY
（千葉県船橋市）



三井ショッピングパーク ららテラス TOKYO-BAY
（千葉県船橋市）



MIYASHITA PARK
（東京都渋谷区）



三井ショッピングパーク ららぽーと堺
（大阪府堺市）

＜添付資料⑥＞　三井不動産グループのサステナビリティについて

当社グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によってさらに大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1.産業競争力への貢献」、「2.環境との共生」、「3.健やか・活力」、「4.安全・安心」、「5.ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6.コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

＜リリース画像のダウンロードサイト＞
https://www.mitsuifudosan.co.jp/press/